



令和5年 上伊那地域 県政「おもなできごと」 項目一覧

1 月

- ◆ゼロカーボンセミナー in 上伊那を開催 【地域振興局環境・廃棄物対策課】
- ◆南信工科短期大学から4年制大学へ編入学が可能に【南信工科短期大学校】

3 月

- ◆「辰野町平出上町歩道」(主要地方道下諏訪辰野線)整備完成 【伊那建設事務所】

4 月

- ◆長野県議会議員一般選挙 【地域振興局企画振興課】
- ◆第32回「農業農村整備事業広報大賞優秀賞」受賞 【地域振興局農地整備課】

5 月

- ◆「第51回上伊那地区障がい者スポーツ大会」を開催【伊那保健福祉事務所】

6 月

- ◆台風2号による災害の発生 【地域振興局・伊那建設事務所】
- ◆JR東海と伊那谷の森林所有者が「森林(もり)の里親基本協定」を締結
【地域振興局林務課】
- ◆上伊那管内の県税収入歩合が2年連続で過去最高を記録 【南信県税事務所】

7 月

- ◆長野県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会を開催 【地域振興局総務管理課】
- ◆JA上伊那 米穀乾燥調製貯蔵施設(南部カントリーエレベーター)完成
【農業農村支援センター】

9 月

- ◆「上伊那観光PR事業 in名古屋」の開催 【地域振興局商工観光課】
- ◆（都）環状北線天竜川橋りょう（仮称）着工【伊那建設事務所】
- ◆高遠ダム洪水吐ゲート大規模改修工事に着手 【南信発電管理事務所】

10 月

- ◆西天竜発電所大規模改修工事しゅん工式を開催 【南信発電管理事務所】
- ◆第 51 回「上伊那郡市植樹祭」を南箕輪村で開催 【地域振興局林務課】

12 月

- ◆白鳥フルーツ農園 代表 白鳥 勲さんが「関東農政局土地改良事業地区等営農推進功労者表彰」を受賞 【地域振興局農地整備課】
- ◆「上伊那スマート農業シンポジウム」を開催 【農業農村支援センター】

通年・期別

- ◆新たな総合5か年計画『しあわせ信州創造プラン 3.0』（上伊那地域計画）がスタート 【地域振興局企画振興課】
- ◆上伊那8市町村で知事との県民対話集会を開催 【地域振興局企画振興課】
- ◆ツキノワグマ出没多発 【地域振興局林務課】
- ◆農業用水探検隊を開催 【地域振興局農地整備課】
- ◆各分野と連携協定を締結 【南信工科短期大学校】

令和5年 上伊那地域 県政「おもなできごと」

1 月

◆ゼロカーボンセミナー in 上伊那を開催 【地域振興局環境・廃棄物対策課】

ゼロカーボン社会実現への課題を整理し、実践に向けての道筋を皆で考える機会として、1月26日に「ゼロカーボンセミナー in 上伊那」を開催しました。

セミナーでは茅野 恒秀 氏（信州大学人文学部准教授）による『脱炭素社会の要請と地域一丸となった取組』をテーマにした講演、分科会及び全体会を行い、地域が担う課題として、住宅等の断熱性能の向上や、脱炭素経営へのシフトなどを提示していただきました。

また、分科会では、事業者からCO2フリー電力への切り替えや設備更新によるエネルギー効率化、事業所間での省エネパトロール等、上伊那圏域における先進的な事例発表のほか、情報共有と意見交換等をインターネットでのオンライン配信も交え行いました。



◆南信工科短期大学から4年制大学へ編入学が可能に【南信工科短期大学校】

本校から「4年制大学」（信州大学、公立諏訪東京理科大学）への編入学が可能となる「構造改革特別区域計画」が、1月5日に内閣総理大臣から認定されました。

令和6年度から編入学が可能となり、実践的で高度な技術力を習得した学生が、先端技術の研究開発力やマネジメント力を身に付けることができる「地域の中核人材の育成システム」の構築が期待されます。

3 月

◆「辰野町平出上町歩道」(主要地方道下諏訪辰野線) 整備完成 【伊那建設事務所】

下諏訪辰野線の交通安全事業*が11年間かけて完成しました。

*歩道などの安全対策施設設置事業

下諏訪辰野線の辰野町平出付近は、1日1万台を超える幹線にもかかわらず、従来は幅が1mに満たない危険な歩道でしたが、今回の工事により車イス同士がすれ違いのできる安全な歩道に生まれ変わりました。

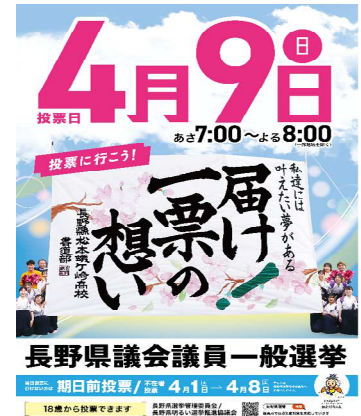


◆長野県議会議員一般選挙 【地域振興局企画振興課】

長野県議会議員一般選挙が行われ、上伊那郡選挙区及び駒ヶ根市選挙区で選挙戦となりました。

投票率：上伊那郡 55.44%
駒ヶ根市 53.39%
(全 県 44.47%)

上伊那地域の投票率は県平均を上回りましたが、全県の投票率は、県議選で戦後最低を更新しました。



◆第32回「農業農村整備事業広報大賞優秀賞」受賞

地元小学生に農業水利施設の歴史や役割を学んでもらう「農業用水探検隊」の取組が評価され、第32回「農業農村整備事業広報大賞 優秀賞」※を受賞しました。

今回の受賞を励みに、引き続き、土地改良区や市町村、農家の皆さんと連携して、地域の農業の魅力や農業水利施設の大切さを発信してまいります。

【地域振興局農地整備課】



※ 農業農村整備事業に係る広報活動で特に功績があった団体を表彰するもので、全国から推薦された32団体のうち、大賞2団体、優秀賞8団体が受賞

◆「第51回上伊那地区障がい者スポーツ大会」を開催【伊那保健福祉事務所】

5月20日に障がい者の自立・社会参加、交流促進などを目的として「上伊那地区障がい者スポーツ大会」を伊那市陸上競技場で開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの開催となり、上伊那地域居住の障がい児をはじめとする118名の選手の皆さんが、陸上競技やニュースポーツ「モルック」を学生ボランティアやスタッフと一緒に楽しみ、天候に恵まれた青空のもと、会場に笑顔の花を咲かせていました。



◆台風2号による災害の発生 【地域振興局・伊那建設事務所】

台風2号の影響により6月1日から降り始めた雨は3日まで断続的に降り続き、県内各地に被害をもたらしました。

管内では伊那市長谷の北沢峠において、3日間連続雨量309mmを観測するなど、伊那市、駒ヶ根市東部地域や中川村を中心に多くの箇所道路河川等に被害が発生しました。

県管理の道路河川、農地及び山林など被災51箇所について、約9億円（建設関係5.8億円、農地整備関係1.4億円、林務関係1.8億円）の災害復旧事業等が決定されました。

今後、早期に復旧工事等に取り組んでまいります。



◆JR東海と伊那谷の森林所有者が「森林（もり）の里親基本協定」を締結 【地域振興局林務課】

6月27日に、JR東海と森林所有者（上伊那森林組合、溝口生産森林組合、黒河内生産森林組合）との森林（もり）の里親基本協定締結式が行われました。

地球環境問題がクローズアップされている中、協定が結ばれた森林では、企業が経費を負担することにより間伐や主伐による材の利活用のほか、伐採後の植林（再造林）が進められます。

こうした林業生産活動の循環は二酸化炭素の吸収を進め、2050年ゼロカーボン達成の一助としての役割も果たすこととなりますので、協定締結を契機に、伊那市長谷地区の森林整備の増進及び様々な森林の公益的機能が更に高まることが期待されます。



◆上伊那管内の県税収入歩合が2年連続で過去最高を記録 【南信県税事務所】

令和4年度決算の結果、上伊那管内の県税収入歩合が、前年度を0.1ポイント上回る99.4%と、2年連続で過去最高となりました。

製造業を中心とした法人二税の収入額増加や、市町村と連携した徴収対策が主な要因です。

◆長野県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会を開催 【地域振興局総務管理課】

7月23日に「第65回長野県消防ポンプ操法大会」「第32回長野県消防ラッパ吹奏大会」が、県消防学校を会場に開催されました。

今年度は、上伊那消防協会が運営を担うとともに、競技結果では、当協会の「駒ヶ根市消防団」がポンプ操法第2部で「優勝」、ラッパ吹奏の部では「第3位」4名が個人賞を受賞するという輝かしい成績を収めました。



◆JA 上伊那 米穀乾燥調製貯蔵施設（南部カントリーエレベーター）完成 【農業農村支援センター】

私たちの生活になくてはならない、米穀などの食糧を貯蔵する施設再編の一環として飯島町に整備されました。

生産コストの削減と品質の平準化が図られ、農家所得の確保・向上が期待されます。



9月

◆「上伊那観光PR事業 in 名古屋」の開催 【地域振興局商工観光課】

9月9日～10日に名古屋市サカエチカ「大同特殊鋼 phenix スクエア」にて（一社）長野伊那谷観光局、伊那市、駒ヶ根市と連携して上伊那の観光をPRしました。

当日は、アルクマも登場し名産品を景品とした抽選会や、観光パンフレットの配布も行い、1,500名を超える方々に上伊那の魅力をお伝えしました。

今後もリニア新幹線開通を見据え、積極的に上伊那の観光PRに取り組みます。



◆（都）環状北線天竜川橋りょう（仮称）着工【伊那建設事務所】

都市計画道路環状北線 伊那市 山寺～中央工区において、天竜川橋りょう（仮称）の左岸側橋台・橋脚工事に着手しました。

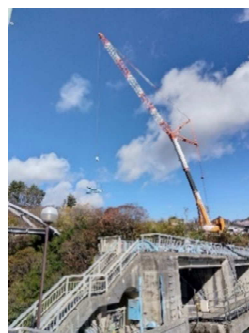
橋りょう関係工事のほか、順次道路築造工事に着手し、早期に一般国道153号と竜東線（主要地方道伊那辰野停車場線）を結ぶことにより、利便性の向上や市街地の渋滞緩和を図ります。



◆高遠ダム洪水吐ゲート大規模改修工事に着手 【南信発電管理事務所】

昭和33年の運用開始から60年以上経過したゲート関係設備について、老朽化した機器を全面的に取替えるとともに操作性を向上するための大規模改修工事に着手しました。

日本でも最大級の550tまで吊上げ可能なクレーンを使っての工事は圧巻で、令和8年の完成を目指します。



◆西天竜発電所大規模改修工事しゅん工式を開催

【南信発電管理事務所】

昭和36年運転開始から50年以上経過し、老朽化対策と新基準に適合する耐震化を実施し、これまで水量の少ないかんがい期（4～9月）を除いた運用となったものを、通年運用とし、令和4年2月に運転を再開しました。

また、改修に合わせて発電所を地下式にしたことにより発電能力を増強するとともに、空いた地上部分のスペースに新たに広場整備を行いました。

今後地域に開かれた施設・学習の場及び災害時の防災拠点として、伊那市とも連携した活用が期待されます。



◆第51回「上伊那郡市植樹祭」を南箕輪村で開催

【地域振興局林務課】

10月25日に「令和5年度上伊那郡市植樹祭」を南箕輪村大芝高原内で開催しました。

松枯れのアカマツを伐採したエリアに、地元小学生や森林・林業関係者など約200名が集まり、クリ、コナラ、ヤマザクラの苗木計600本を植栽し、次の世代に引き継ぐ森づくりを行いました。



◆白鳥フルーツ農園 代表 白鳥 勲さんが「関東農政局土地改良事業地区等営農推進功労者表彰」を受賞 【地域振興局農地整備課】

りんごの「高密植栽培」に取り組まれている白鳥 勲さん（伊那市西箕輪）が、「関東農政局土地改良事業地区等営農推進功労者表彰」を受賞されました。

「高密植栽培」は、イタリア南チロル地方を中心に欧米で普及が進んでおり、現在長野県の果樹振興施策の柱として、研究・普及が進められている技術です。

白鳥さんは、県内でも先駆的にこの技術の導入を進められ、単位あたりの収穫量が3倍に増え、労働時間の削減を実現されており、こうした取組が評価され、今回の受賞となりました。



◆「上伊那スマート農業シンポジウム」を開催 【農業農村支援センター】

農作業の労力軽減と生産性向上に向けて注目されている「スマート農業」について、ドローンによる農薬散布や傾斜地でのラジコン草刈りなど、取組の現状と今後の展望を参加者で共有するシンポジウムを12月13日に開催しました。

参加者がそれぞれの発表に熱心に耳を傾け、関心の高さが伺われました。

今後、関係機関と連携した高度な技術の更なる普及が期待されます。



通年・期別

◆新たな総合5か年計画『しあわせ信州創造プラン 3.0』（上伊那地域計画）がスタート 【地域振興局企画振興課】

2023年度から2027年度までを期間とする県の新たな総合5か年計画『しあわせ信州創造プラン 3.0』（上伊那地域計画）が4月からスタートしました。

上伊那地域では「人々の思いが力が重なり 高まり 未来を創る 二つのアルプスに護られた 水と森林（もり）と太陽の伊那谷」をめざす姿に掲げ、

「伊那谷の未来を創る「ひと」づくり」

「人が集い、新たな価値を共創する「つながり」づくり」などの取組を進めてまいります。



◆上伊那8市町村で知事との県民対話集会を開催 【地域振興局企画振興課】

「対話と共創」の県政を推進するため、阿部知事が上伊那の8市町村を訪問し、県民の皆様と語り合う「知事との県民対話集会」を開催しました。

2月から10月まで8市町村合わせて約450名の県民の皆様にご参加いただき、各市町村のテーマに沿って、地域での取り組みや、抱えている課題などについて、活発な意見交換がなされました。



◆ツキノワグマ出没多発 【地域振興局林務課】

全国的にツキノワグマによる人身被害が頻発する中、管内においても人身事故が2件（前年比+1件）発生し、目撃情報も大幅に増加したことから、目撃情報があった現場周辺の緊急点検を11月初旬に約1週間実施し、被害の拡大防止に努めました。

また、市町村等と連携した県民への注意喚起、誘因物除去や緩衝帯整備等を積極的に取り組みました。



◆農業用水探検隊を開催 【地域振興局農地整備課】

地域の農業水利施設の歴史や役割を地元小学生に学習してもらうため「農業用水探検隊」を6月～11月にかけて計11回開催しました。

今年度は、6校（伊那・辰野南・箕輪中部・箕輪北・南箕輪・南箕輪南部）から小学4年生延べ432人の参加があり、西天竜幹線水路の円筒分土工や伊那西部第1揚水機場などを見学し、農業における水の大切さを学んでもらいました。



◆各分野と連携協定を締結 【南信工科短期大学校】

各分野と教育、研究及び地域産業の振興等に関する連携協定を締結しました。

次世代を見据えて、今後は、学術及び産業の発展とともに人材育成に協力して取り組みます。

2月 アルプス中央信用金庫、信州大学医学部

5月 信州豊南短期大学



確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る

—— しあわせ信州創造プラン 3.0 ——
~大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために~

長野県総合5か年計画推進中



2050ゼロカーボンを目指す長野県のシンボルマークです

(問合せ先)

担当：上伊那地域振興局総務管理課 電話：0265-76-6800 ファクシミリ：0265-76-6804 E-mail：kamichi-somu@pref.nagano.lg.jp	担当：南信県税事務所総務課 電話：0265-76-6805 ファクシミリ：0265-76-6809 E-mail：zei-nanshin@pref.nagano.lg.jp
担当：伊那保健福祉事務所総務課 電話：0265-76-6835 ファクシミリ：0265-76-7033 E-mail：inaho-somu@pref.nagano.lg.jp	担当：伊那建設事務所総務課 電話：0265-76-6845 ファクシミリ：0265-76-6850 E-mail：inaken-somu@pref.nagano.lg.jp
担当：南信工科短期大学校 電話：0265-71-5051 ファクシミリ：0265-72-2064 E-mail：nanshinkotan@pref.nagano.lg.jp	担当：南信発電管理事務所 電話：0265-72-6121 ファクシミリ：0265-78-8050 E-mail：nanhatsu@pref.nagano.lg.jp